

2019年6月研修便り～No.3～

新人看護師 看護のリフレクション



就職後に体験したすっきりしない看護場面をリフレクションしました。同期と看護を振り返る中で新しい気づきがありました。自分では上手いかなかったと感じた体験でも、他者の視点で良い看護の部分があると承認してもらえたことも研修生にとってはリフレクションのプラスの発見でした。

ラダーⅡ 看護ケアのエビデンス



ラダーⅡは先輩のフォローも少しずつ離れて、メンバーシップの発揮を求められる時期です。根拠に基づく看護実践は自律への第1歩。「エビデンスに基づいた看護」を実践するためのプロセスを研修生が日頃実践している看護ケアの事例展開を通して確認しました。

ラダーⅢ 高齢者の意思決定支援



老化による生理的機能低下が起こる高齢者の意思決定には倫理的ジレンマが多く起こります。事例検討を通して、日々の看護実践場面で起こっている倫理的問題に気づくことができました。ラダーⅢでは、主体的看護実践が課題です。入院患者さんの大半を占める高齢者の倫理的問題に気づき医療チームに問題提起していけるようになってほしいと考えています。